



「基本」と「本質」を掴む！ 婦人科がん薬物療法の



講演1

薬剤師が知っておきたい婦人科がん薬物療法のポイント ～卵巣がんを中心に～

藤野 一成（順天堂大学医学部附属順天堂医院 産科・婦人科 准教授）

講演2

薬物療法を支える栄養管理 —薬剤師が知っておきたい“食事・栄養”の視点—

川名 加織（北里大学病院 栄養部 主任）

症例検討・SGD

婦人科がん薬物療法を見つめなおす ～よりよい患者支援のために～

辻 将成（株式会社アイン中央 アイン薬局東埼玉店）

明日からの患者ケアに自信と根拠を

近年、PARP阻害薬の登場など、卵巣がん治療は劇的な進化を遂げており、現場の薬剤師にはより高度な専門性が求められています。

本研修会は、これから学びたい初学者から、さらなる高みを目指す有資格者まで、病院・薬局の垣根を越えて幅広く対象としています。

医師や栄養士による最新の治療戦略・栄養療法の講義に加え、メインとなる症例検討会では、現場で直面する「骨髄抑制」等の副作用マネジメントを徹底討論します。

経験豊富なファシリテーターがサポートするため、どなたでも安心して、単なる「知識の理解」から「根拠を持って判断・説明できる」実践レベルへとステップアップ可能です。

明日の患者ケアに繋がる確かな視点を、ぜひこの機会に手に入れてください。

（がんプロコーディネーター 中村 智徳）

開催
日時

2026年 **7月12日** (日) 9:30～17:00

場 所

慶應義塾大学芝共立キャンパス

申 込

QRコードから

受講料

3,000円

申込締切

6月28日(日)

備考：本研修会は薬剤師業務に従事し、がん患者の方に関わっている方に適した研修会です。

最大4種類の単位を取得可能！

取得可能単位

- 研修認定薬剤師 4単位 (G04 慶應義塾大学薬学部)
- 外来がん治療認定薬剤師 3単位 (日本臨床腫瘍薬学会)
- がん専門薬剤師 (申請中) 3単位 (日本医療薬学会)
- がん薬物療法認定薬剤師 (申請中) 3単位 (日本病院薬剤師会)

※単位取得には研修会終了後のレポート提出が必要です。